

II 過程評価

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画

(1) 地域への積極的な情報発信

第20回 京町小路 事業所評価

トータル	タイトル	項目番号	項目	出来ている	ほぼ出来ている	出来ていない事が多い	全く出来ていない	コメント	改善策	運営推進委員様からのアドバイス
①	担当者会議の記録や、サービスの概要及び効果などの、地域に向けた積極的な情報の発信	28	担当者会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	8	9	0	0	<p>個々の担当者がまとめて業務連絡帳に記載し共有できている</p> <p>業務連絡帳にて迅速に情報共有できている</p> <p>誰でも見ることが出来るようになっていたが迅速に閲覧できないことがある</p> <p>業務連絡帳以外に朝礼でも伝えている</p> <p>最近では現場の介護職に参加してもらうようにしており、会議後にも申し送りノート記載や朝礼での申し送りで共有できている。又CM作成の要点もPC内、個人ファイル内にあり、いつでも閲覧できる</p>	業務連絡帳にて担当者会議で話し合った内容を書いて伝達できている。同じ内容を何度も転記しているため個別の関わり表などの書式の見直しも定期的に行っていく必要がある。	担当者会議の要約やケアの統一のための個別の関わり表など同じ内容を何度も記載しているため、業務の省力化を図りながら情報共有できる書式を取り入れていく。
		29	サービスの概要や効果などについての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている。	4	7	6	0	<p>見学者の方には、出来る限り説明しているが一般の方に対する広報活動は全くできていない。</p> <p>地域との関わりが本当に少なく感じます。</p> <p>残念ながら積極的な広報周知が行えているとは思えない。</p> <p>豊田区、本町区以外の近隣の方は、この建物が何なのか分からない方も多と思う。</p> <p>説明会の開催が1度あった</p> <p>都度問い合わせなどには答えている。</p> <p>運営推進会議で知ってもらう機会もある</p> <p>ブログや事業者向け向けの広報誌も発行しているが小規模多機能の理解となると不十分と思う</p> <p>地域の行事に参加したり、チラシやパンフレットなどで地域の方々にも理解してもらう取組みができていると思う</p> <p>どういった活動をしているか分からない。あまり出来ていないのでは？</p>	小規模多機能というサービスの説明には課題がある。メリット、デメリットがあり、メリットを活かせるご利用者がいらっしゃるが情報を的確に伝えることができていないため広告活動を行っていく必要がある。いままで説明会を数回したことがあるが、そのような会の開催の必要性をあらためて検討してみる。	市が行っている出前講座で地域包括ケアシステムの説明もあると思うので確認し、調整を図ってみる。
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画などで掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	4	8	4	1	<p>職員向けで”地域包括ケアシステムとは・・・”という勉強会があっても良いと思う</p> <p>全体を通してというならば、理解できていないのではと感じる。</p> <p>要介護認定高齢者を地域でケアしていきましょう。という方向になっているということしか分からない。</p> <p>個々の理解がどれ程か把握していないが勉強会や研修等に参加する機会が少ないと思う</p>	地域包括ケアシステムの構築は、日本の未来において非常に大きな課題を抱えている。そのため、このシステムの中の一環を担う小規模多機能の職員として内容をより理解するための勉強会も開催していく。	

(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画